

## 魔法のふでばこプロジェクト中間報告

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

### 1 今年度の目標と進捗状況

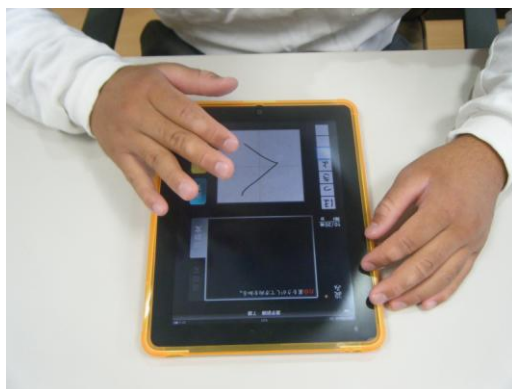
今年度の目標は、児童生徒の学習や生活に役立つようなアプリを探し、実践することと、どのような機能や設定が児童生徒に効果的かについて検証することです。現在は、無料アプリを中心に（有料アプリも厳選して）ダウンロードし、実践を進めている状況です。当初は無料アプリを探すことに時間を割くことも多くありましたが、現在は有料アプリを積極的にダウンロードするように心がけています。また、自由参加ではありますが、教職員向けの iPad 講座を6回、開催しました。多くの教職員が iPad に触れる機会を持ち、実践の裾野が広がりつつあります。

### 2 現在、活用しているアプリケーション

#### ①「漢検何級？」 無料（ただし、各級のアプリは有料）

活用状況：

教科学習の時間や終わりの会前などに少しずつ取り組んでいます。正解の場合、音声（ピンポン）とともに赤丸が表示されると生徒は凄く嬉しそうな表情を見せていました。また不正解の場合でも正答が表示されるので、その場で覚えようとする姿が見られました。おすすめの機能は「漢字検定」→「新規」→「お手軽10分」（短時間で取り組める）と、「漢字訓練」→「復習」（間違えた問題に再挑戦できる）です。ただ、指先で文字を書くため、正しく認識されない場合もあったため、今後、iPad用のペンを購入し、検証したいと考えています。



## ②Voice Recorder HD 170円

活用状況：

運動会の開会式や閉会式で挨拶をする生徒の練習用に使用しました。録音・再生の操作が簡単なので生徒が一人で使うことができました。また、録音した後に再生することで自分の誤りや注意点を確認することができる点が効果的でした。「Kid's Voice Recorder HD Lite」という無料アプリもダウンロードしましたが、Voice Recorder HDの方が使いやすかったです。



## ③マップ (iPad 標準アプリ：無料)

活用状況：

校外学習で活用しました。高等部16名の生徒が4つのグループに分かれて学校から約20分の場所へ徒歩で移動しました。各グループに1つのiPadを用意し、スタート地点から目的地までの道を青く表示させました（「経路」ボタン）。ある程度、地図の理解ができている生徒には効果的でしたが、地図の理解が難しい生徒には有効ではありませんでした。ただ、グループで1つのiPadを覗き込むなど、仲間同士で協力しようという姿も見られました。



#### ④写真 (iPad 標準のアプリ : 無料)

活用状況 :

校外学習後の振り返りとして、廊下に印刷した写真を掲示するとともに iPad にも写真を取り込み、スライドショーにして流しました。生徒の関心は非常に高く、立ち止まって写真を見たり、自分で iPad の写真をスライドさせたりする場面も見受けられました。また、数名の生徒に質問した所、スライドショーオプションのトランジションは「キューブ」が一番人気でした。



#### ⑤トーキングエイド for iPad

活用状況 :

文字学習の一環として活用しています。対象生徒は平仮名と片仮名の読み書きがほぼできますが、拗音や促音には不確かさがあります。友達に手紙を書いて渡したいという意欲が高く、毎日のように自宅で手紙を書いてきますが、文字のバランスが悪く、読むことができない文字も多いです。「友達に自分の想いを確実に伝える」ことを目標として本アプリの活用を試みています。入力した文字が音声で読み上げられる点や、ハートマークなどの記号が選択できる点などが楽しいようで、大変、興味を持って取り組んでいます。



⑥かなもじ 600円

活用状況：

平仮名と片仮名の学習に活用しています。なぞり書き、筆順、塗り絵などの機能があるため、生徒はとても楽しく取り組んでいます。書いた文字が不正確な場合は削除ボタンを押すことで、すぐに書き直すことができる点は本アプリの優れた点だと思われます。また、自分の好きな色を選んで、なぞり書きすることができ、生徒には好評です。本アプリと紙のプリント教材との併用で学習効果を高めたいと考えています。



⑦iPad ケース オープン価格

活用状況：

配布された4台のiPadに緑、ピンク、青、オレンジ色のケースを装着しました。カラフルで見た目も可愛く生徒には好評です。また、「あいぱっど」と言えない生徒が「オレンジ」と言って、iPadを要求する場面も見られました。

